

調査結果の概要

平成 21 年度一万人アンケートの実施結果について〔概要〕

一万人アンケートは、県民の皆さんの行政の各分野に対する満足意識、重要意識等を把握し、県政運営に活用するため実施しています。このたび、平成 21 年度の結果をとりまとめましたのでその概要を報告します。

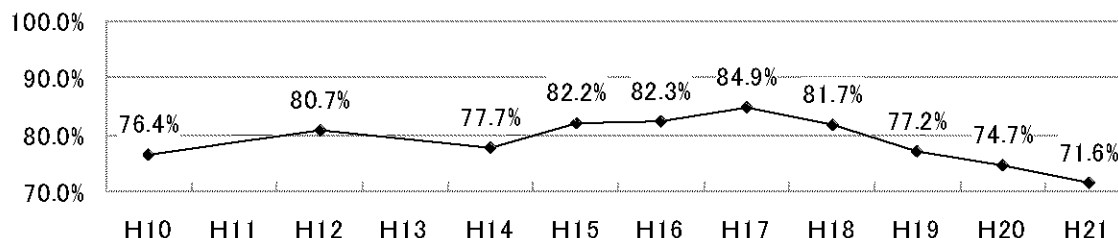
1. お住まいの地域の住みやすさについて

(1) お住まいの地域の住みやすさについての評価 (集計資料 p 96)

お住まいの地域は住みやすいと答えた方の割合は、71.6%となり、前年に比べ3.1ポイント減少しました。また、平成 10 年度からの推移をみると、平成 17 年度までは増減を繰り返しながらも増加傾向にありましたが、平成 18 年度以降は減少し続け、今回の調査では過去最低の割合となっています。

調査年度	H10	H12	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
「住みやすい」と答えた方の割合 (%)	76.4	80.7	77.7	82.2	82.3	84.9	81.7	77.2	74.7	71.6

(「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の回答を合わせたもの)

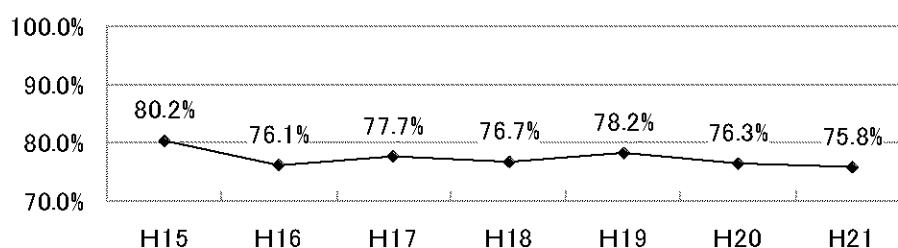


(2) 今後の定住意向について (集計資料 p 124) ※ 15 年度からの調査項目

「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合は 67.7%、「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合は 8.1%で、これらを合計すると 75.8%になります。

合計の推移をみると、平成 15 年度は 80.2%でしたが、平成 16 年度以降は 7 割強で増減を繰り返して、今回の調査では過去最低の割合となっています。

調査年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合	67.7%	65.1%	65.6%	64.5%	69.0%	68.2%	67.7%
「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合	12.5%	11.0%	12.1%	12.2%	9.2%	8.1%	8.1%
合計	80.2%	76.1%	77.7%	76.7%	78.2%	76.3%	75.8%

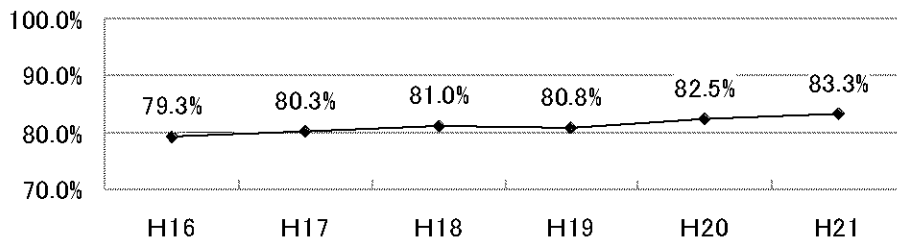


2. 現在の行政の取組全般に対する重要意識

現在の行政の取組全般に対する重要意識について、全 44 項目の平均でみると 83.3%で、前年に比べ0.8ポイント増加し、重要意識が高まっています。

調査年度	H10	H12	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
重要意識の平均値 (%)	70.2	69.1	70.3	70.4	79.3	80.3	81.0	80.8	82.5	83.3

(平成 16 年度に設問の表現を変更したため、平成 15 年度以前は参考扱い)

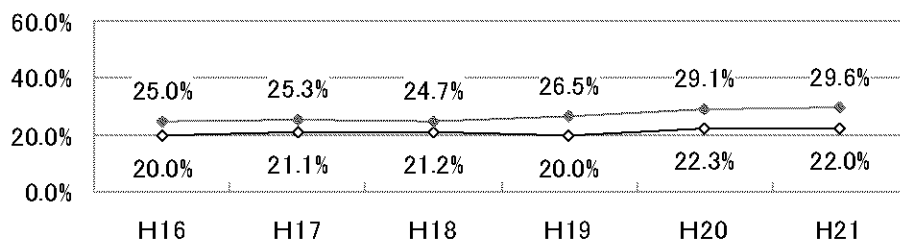


3. 現在の行政の取組全般に対する満足意識、不満足意識

現在の行政の取組全般に対する満足（不満）意識について、全 44 項目の平均でみると、満足意識は 22.0%で 0.3ポイント減少し、不満足意識は 29.6%で 0.5ポイント増加しています。

調査年度	H10	H12	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
満足意識の平均値 (%)	12.1	11.8	11.9	11.3	20.0	21.1	21.2	20.0	22.3	22.0
不満足意識の平均値 (%)	30.5	28.3	28.9	26.5	25.0	25.3	24.7	26.5	29.1	29.6

(平成 16 年度に設問の表現を変更したため、平成 15 年度以前は参考扱い)

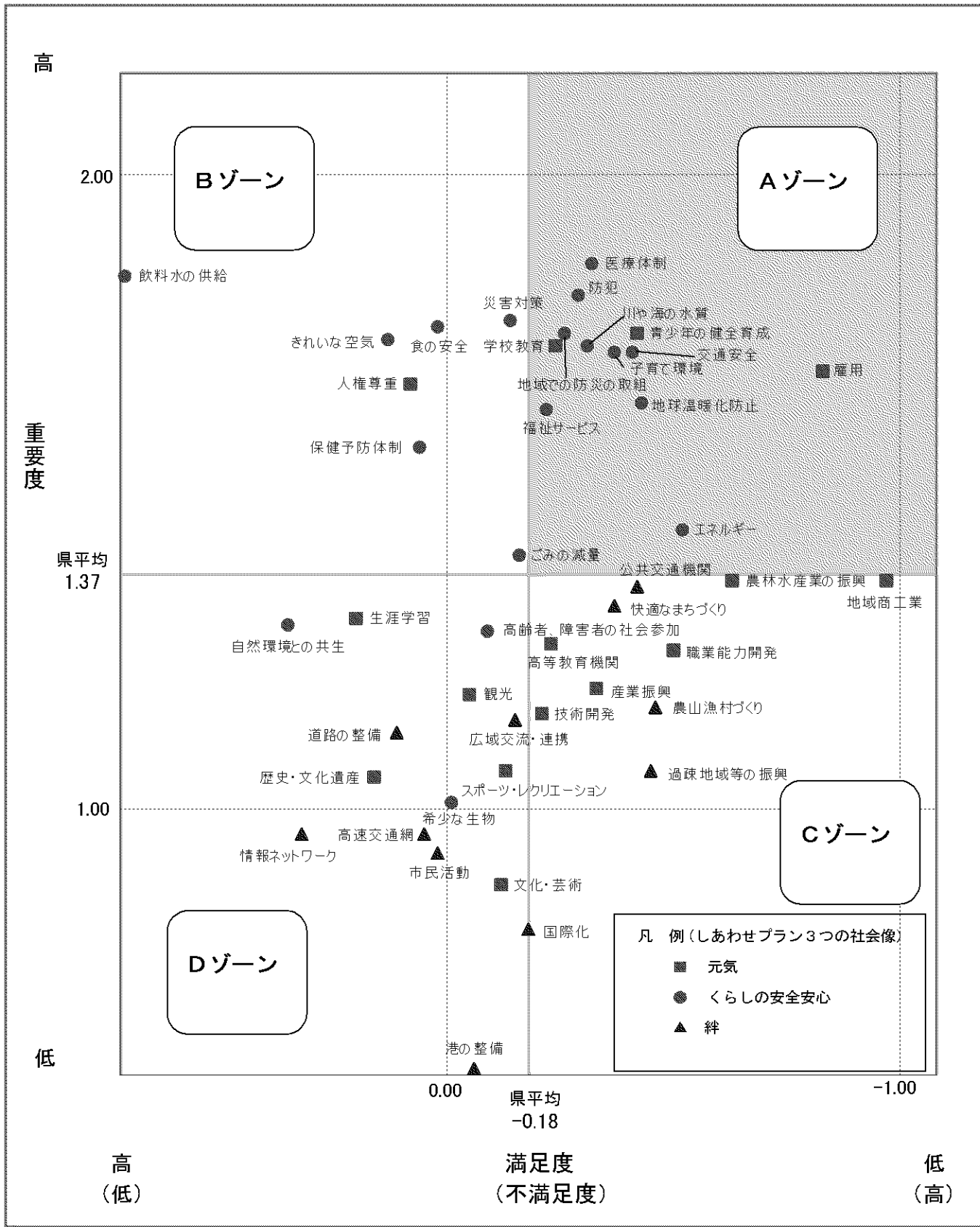


凡例	
◇	満足意識
◆	不満足意識

4. 現在の行政の各分野における取組について

アンケートで得られた重要意識・満足意識から計算した重要度・満足度（※「2. 重要度、満足度について」p126～127 参照）を、それぞれ縦軸・横軸にとって44項目の回答結果（p128 参照）をプロットすると、下図のようになります。

図 重要度・満足度プロット図（重要度と満足度の関係（平成21年度））



(1) 重要度、満足度の状況

・取組に対する県民のニーズが特に高いもの

【Aゾーン 重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目】

「重要度・満足度プロット図」の右上に位置する項目は、施策の必要性が充分認識され、特に取組の推進や改善に対する県民のニーズが高い項目と考えられ、従来の施策の取組について、さらに改善を検討する必要があります。

項 目
「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」 「交通安全」「防犯」「子育て環境」「医療体制」 「福祉サービス」「川や海の水質」「地球温暖化防止」 「雇用」「エネルギー」

・取組の必要性と内容に対する県民の評価が得られているもの

【Bゾーン 重要度、満足度ともに平均値より高い項目】

「重要度・満足度プロット図」の左上に位置する項目は、施策の必要性が充分認識され、その取組にも満足されている項目と考えられ、今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要があります。

なお、「飲料水の供給」は従来から重要度、満足度ともに高い評価を得ています。

今回の調査（平成21年度）でAゾーンからBゾーンに移行した項目は以下の通りです。

○重要度が平均値より高いままだが、満足度が平均値より高くなった項目（Aゾーン→Bゾーン） * 「食の安全」「ごみの減量」

項 目
「人権尊重」「災害対策」「食の安全」「保健予防体制」 「ごみの減量」「きれいな空気」「飲料水の供給」

・取組に対する県民の満足度は低いものの、必要性の認識も低いもの

【Cゾーン 重要度、満足度ともに平均値より低い項目】

「重要度・満足度プロット図」の右下に位置する項目は、取組の推進や改善に対するニーズは高いものの、他の施策と比較してその必要性の認識が低い項目と考えられ、施策の重要性をさらに認知してもらえるような取組とともに、従来の取組の改善も検討する必要があると考えられます。

なお、今回の調査（平成21年度）でAゾーンからCゾーンに移行した項目は以下の通りです。

○満足度が平均値より低い（不満足度が平均値より高い）ままだが、重要度が平均値より低くなった項目（Aゾーン→Cゾーン） * 「公共交通機関」

主 な 項 目
「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」 「公共交通機関」「快適なまちづくり」 「農山漁村づくり」「過疎地域等の振興」など

- ・ 必要性の認識は低いものの、取組に対する満足度は高いもの

【Dゾーン 重要度が平均値より低く、満足度は平均値より高い項目】

「重要度・満足度プロット図」の左下に位置する項目は、他の施策と比較してその必要性の認識は低いものの、取組には満足されている項目と考えられ、着実に取組を推進するとともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえ取組を進める必要があると考えられます。

主な項目	
「生涯学習」「歴史・文化遺産」	
「高齢者、障害者の社会参加」「自然環境との共生」	
「観光」「道路の整備」など	

(2) 地域別の重要度、満足度の状況

各地域の重要度、不満足度の10位までの順位は下表のとおりです。

① 重要度

順位	県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1位	18. 医療体制	44. 飲料水の供給	18. 医療体制	18. 医療体制	13. 医療体制	18. 医療体制
2位	44. 飲料水の供給	18. 医療体制	44. 飲料水の供給	44. 飲料水の供給	44. 飲料水の供給	44. 飲料水の供給
3位	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	31. 災害対策
4位	11. 災害対策	10. 地域での防災の取組 11. 災害対策	4. 青少年の健全育成 14. 食の安全 17. 子育て環境 23. きれいな空気	11. 災害対策	11. 災害対策	10. 地域での防災の取組
5位	14. 食の安全	14. 食の安全 23. きれいな空気	24. 川や海の水質	14. 食の安全	14. 食の安全 23. きれいな空気 24. 川や海の水質	4. 青少年の健全育成 14. 食の安全
6位	4. 青少年の健全育成 10. 地域での防災の取組	4. 青少年の健全育成	3. 学校教育 11. 災害対策	4. 青少年の健全育成 10. 地域での防災の取組	3. 学校教育 17. 子育て環境	13. 防犯 31. 雇用
7位	23. きれいな空気	3. 学校教育 12. 交通安全	12. 交通安全	24. 川や海の水質	4. 青少年の健全育成	3. 学校教育 17. 子育て環境 24. 川や海の水質
8位	3. 学校教育 24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	31. 雇用	3. 学校教育 17. 子育て環境 23. きれいな空気	10. 地域での防災の取組 31. 雇用	23. きれいな空気
9位	12. 交通安全 17. 子育て環境	1. 人権尊重 17. 子育て環境	10. 地域での防災の取組	12. 交通安全	12. 交通安全	1. 人権尊重
10位	31. 雇用	31. 雇用	1. 人権尊重 25. 地球温暖化防止	31. 雇用	25. 地球温暖化防止	12. 交通安全

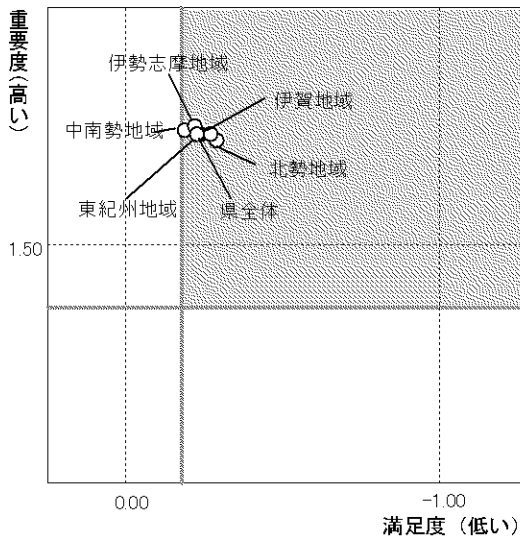
② 不満足度

順位	県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1位	30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業	31. 雇用
2位	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	30. 地域商工業
3位	26. 農林水産業の振興	26. 農林水産業の振興	18. 医療体制	26. 農林水産業の振興	26. 農林水産業の振興	18. 医療体制
4位	43. エネルギー	25. 地球温暖化防止	26. 農林水産業の振興	32. 職業能力開発	27. 産業振興	38. 公共交通機関
5位	32. 職業能力開発	43. エネルギー	38. 公共交通機関	43. エネルギー	32. 職業能力開発	32. 職業能力開発
6位	41. 農山漁村づくり	4. 青少年の健全育成	32. 職業能力開発	42. 過疎地域等の振興	43. エネルギー	42. 過疎地域等の振興
7位	42. 過疎地域等の振興	12. 交通安全 24. 川や海の水質	17. 子育て環境	41. 農山漁村づくり	42. 過疎地域等の振興	27. 産業振興 36. 高速交通網
8位	25. 地球温暖化防止	41. 農山漁村づくり	42. 過疎地域等の振興 43. エネルギー	12. 交通安全	41. 農山漁村づくり	26. 農林水産業の振興
9位	4. 青少年の健全育成 38. 公共交通機関	40. 快適なまちづくり	41. 農山漁村づくり	25. 地球温暖化防止	18. 医療体制 38. 公共交通機関	43. エネルギー
10位	12. 交通安全	32. 職業能力開発	4. 青少年の健全育成	4. 青少年の健全育成	17. 子育て環境	41. 農山漁村づくり

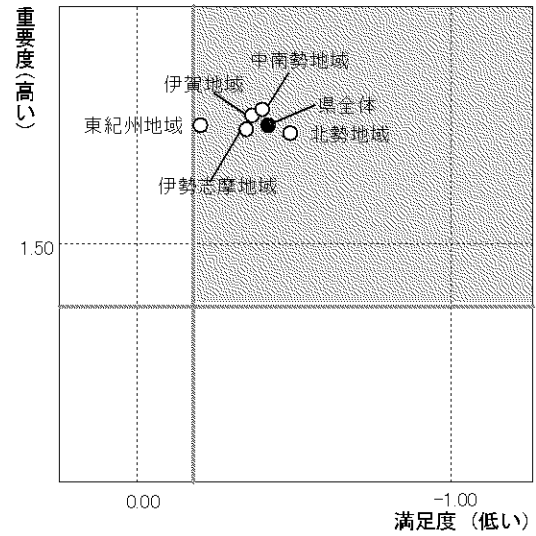
*網掛け項目は、県民のニーズが高いAゾーンにあげられている項目

各地域の「重要度・満足度プロット図」のAゾーンに入っている、県民のニーズが高いと考えられる17項目をプロットしました。図中の「——」は県平均（重要度平均 1.37、満足度平均 -0.18）を示しています。

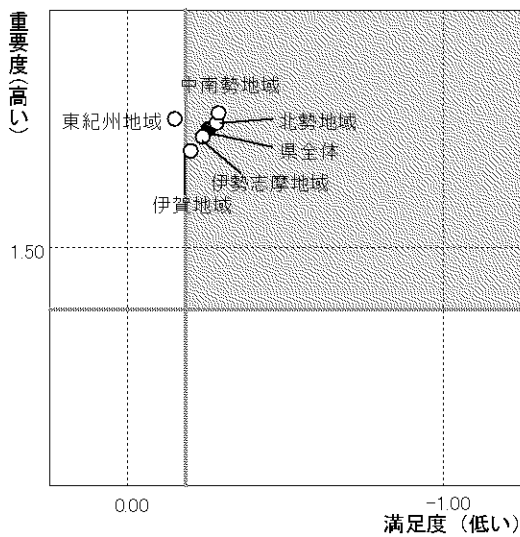
3 【学校教育】



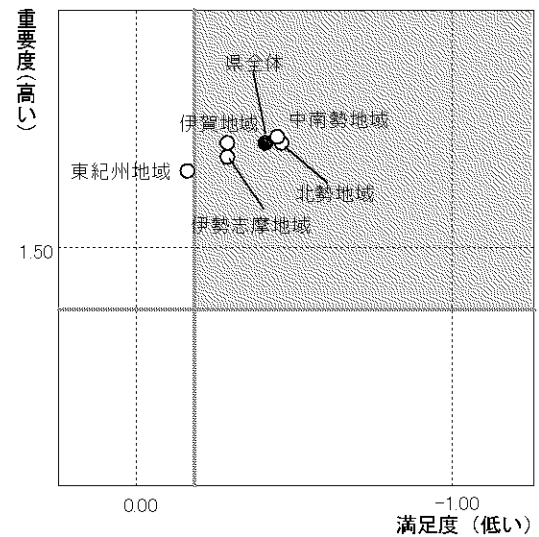
4 【青少年の健全育成】



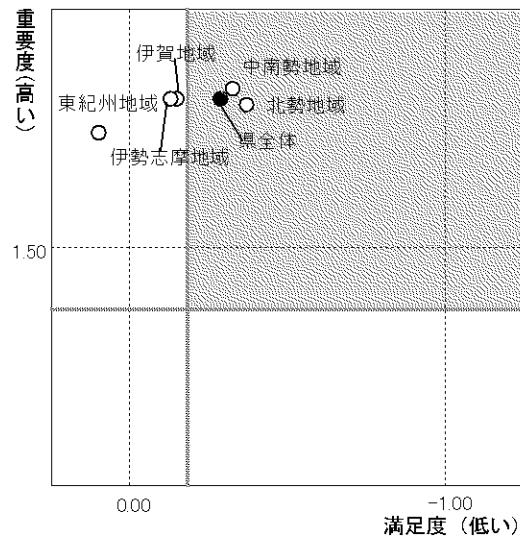
10 【地域での防災の取組】



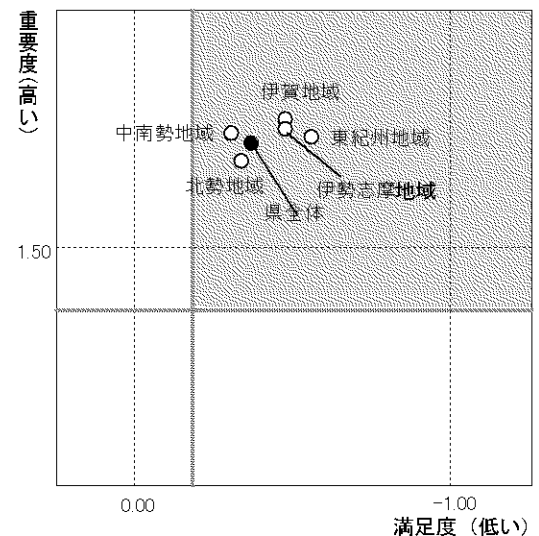
12 【交通安全】



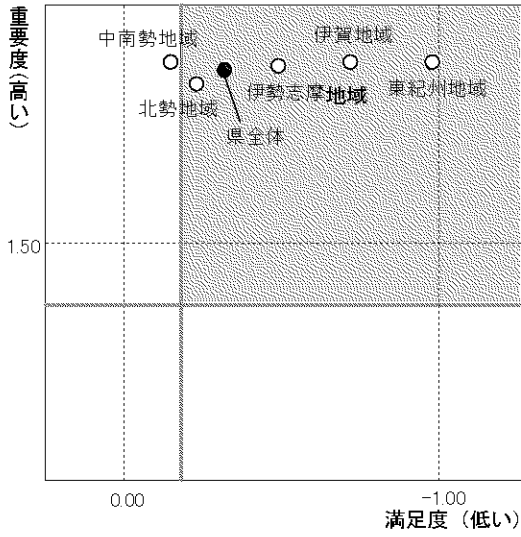
13 【防犯】



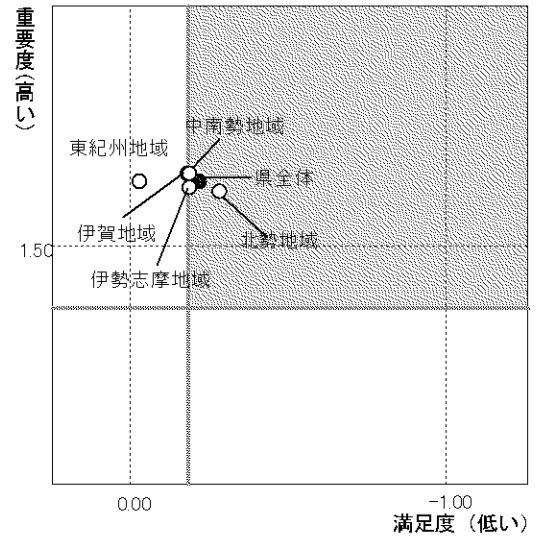
17 【子育て環境】



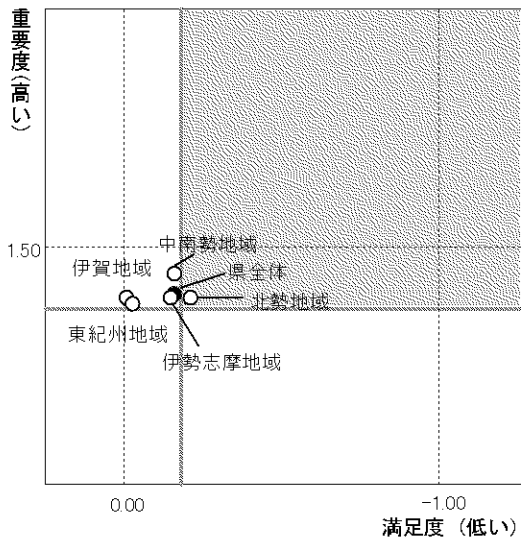
18【医療体制】



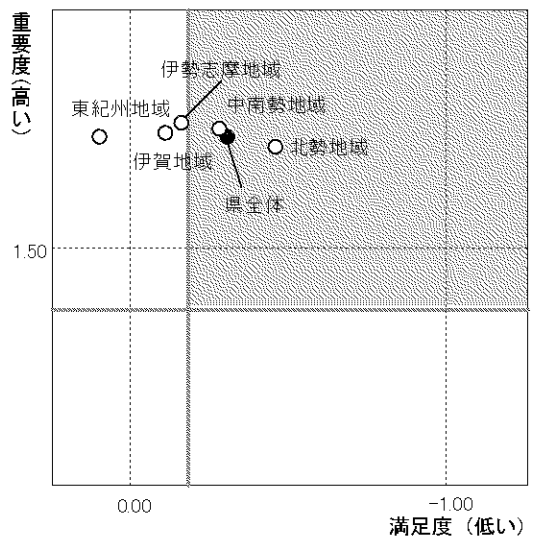
19【福祉サービス】



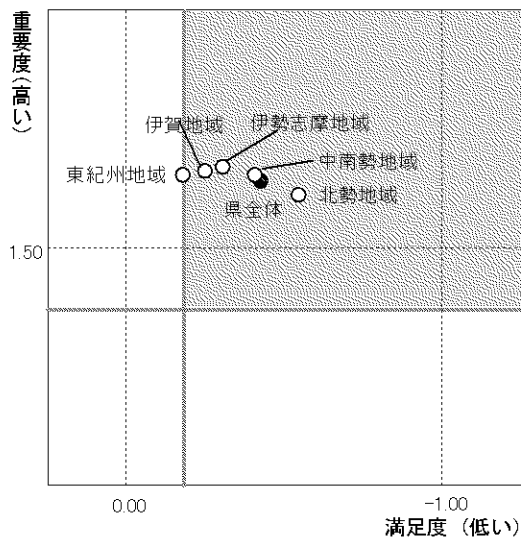
22【ごみの減量】



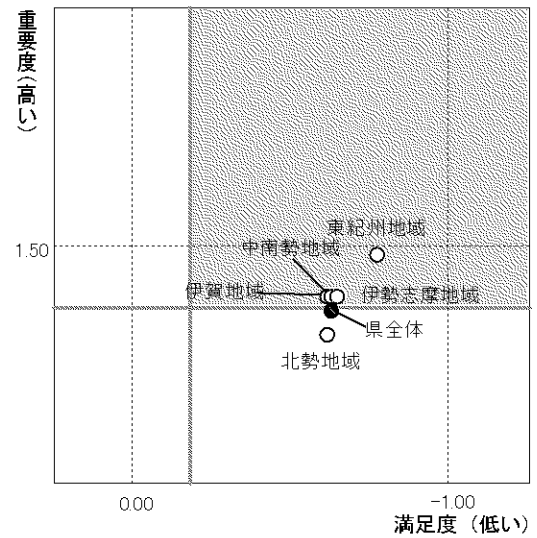
24【川や海の水質】



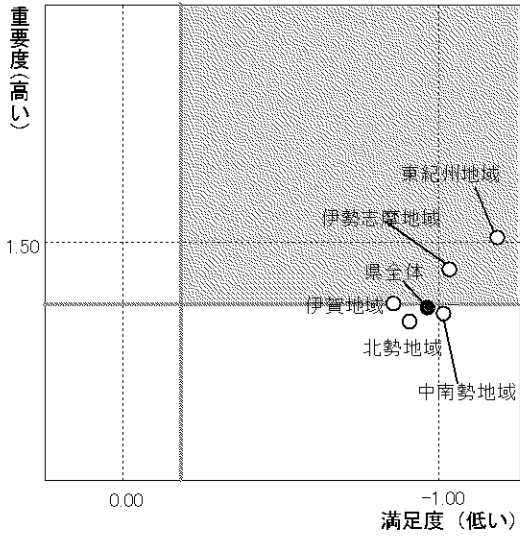
25【地球温暖化防止】



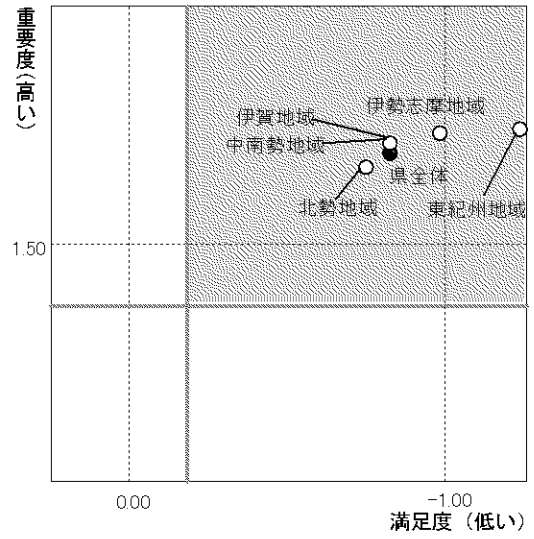
26【農林水産業の振興】



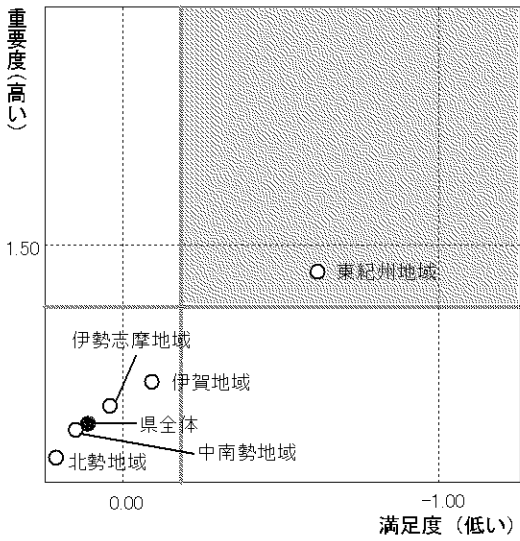
30【地域商工業】



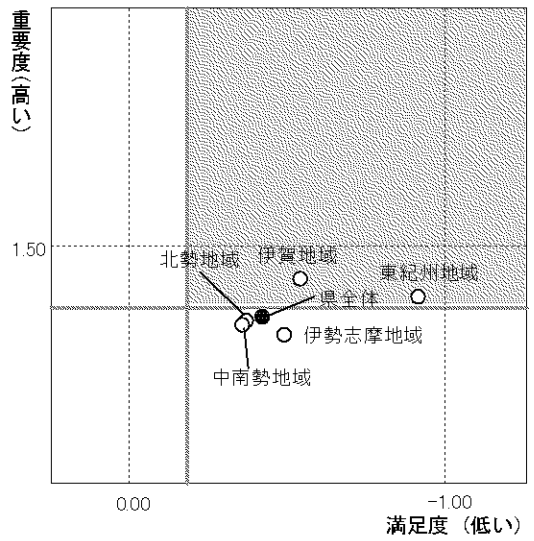
31【雇用】



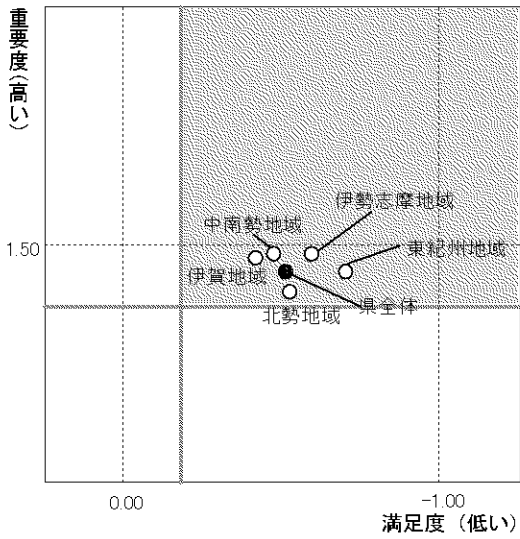
37【道路の整備】



38【公共交通機関】



43【エネルギー】



③ 重要度・満足度に関する地域別の特色を概観すると次のとおりです。

地域区分	特に県民ニーズが高い項目（Aゾーン）等に関する地域の特性
北勢	24「川や海の水質」25「地球温暖化防止」31「雇用」43「エネルギー」は、Aゾーンであるが、相対的に他地域より重要度は低い。 26「農林水産業の振興」は唯一Cゾーンで、県平均より重要度が低くなっている。
伊賀	17「子育て環境」38「公共交通機関」が相対的に他地域と比べ重要度が高い。 13「防犯」22「ごみの減量」24「川や海の水質」は、Bゾーンで県平均より満足度が高くなっている。
中南勢	18「医療体制」は、唯一Bゾーンとなっており、県平均より満足度が高くなっている。
伊勢志摩	13「防犯」22「ごみの減量」24「川や海の水質」は、Bゾーンで県平均より満足度が高くなっている。
東紀州	10「地域での防災の取組」12「交通安全」13「防犯」19「福祉サービス」22「ごみの減量」24「川や海の水質」は、Bゾーンで県平均より満足度が高くなっている。 37「道路の整備」は、唯一Aゾーンとなっている。 26「農林水産業の振興」は、相対的に他地域と比べ重要度が高い。

(3) 時系列分析でみた重要度、満足度の分析

平成19年度から平成21年度までの3年間の時系列分析を行いました。

以下については、重要度、満足度が0.1以上増減した項目を列挙しています。

<県全体の3年間の動き>

- ・満足度が上がっているもの…… 「きれいな空気」「飲料水の供給」「学校教育」「地球温暖化防止」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	
23. きれいな空気	1.76	1.75	1.74	-0.03	0.06	0.13	0.16
44. 飲料水の供給	1.84	1.84	1.84	0.56	0.68	0.71	0.15
03. 学校教育	1.79	1.74	1.73	-0.37	-0.26	-0.24	0.13
25. 地球温暖化防止	1.75	1.67	1.64	-0.55	-0.55	-0.43	0.12

- ・満足度が下がっているもの…… 「医療体制」「産業振興」「農山漁村づくり」「地域商工業」「職業能力開発」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	
18. 医療体制	1.83	1.85	1.86	-0.15	-0.23	-0.32	-0.17
27. 産業振興	1.17	1.19	1.19	-0.18	-0.19	-0.33	-0.15
41. 農山漁村づくり	1.07	1.15	1.16	-0.31	-0.37	-0.46	-0.15
30. 地域商工業	1.33	1.31	1.36	-0.84	-0.93	-0.97	-0.13
32. 職業能力開発	1.18	1.22	1.25	-0.38	-0.42	-0.50	-0.12

- ・重要度が上がっているもの…… 「高等教育機関」「農林水産業の振興」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	
05. 高等教育機関	1.12	1.23	1.26	-0.15	-0.19	-0.23	0.14
26. 農林水産業の振興	1.25	1.34	1.36	-0.44	-0.66	-0.63	0.11

- ・重要度が下がっているもの…… 「ごみの減量」「地球温暖化防止」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	
22. ごみの減量	1.51	1.43	1.40	-0.17	-0.23	-0.16	-0.11
25. 地球温暖化防止	1.75	1.67	1.64	-0.55	-0.55	-0.43	-0.11

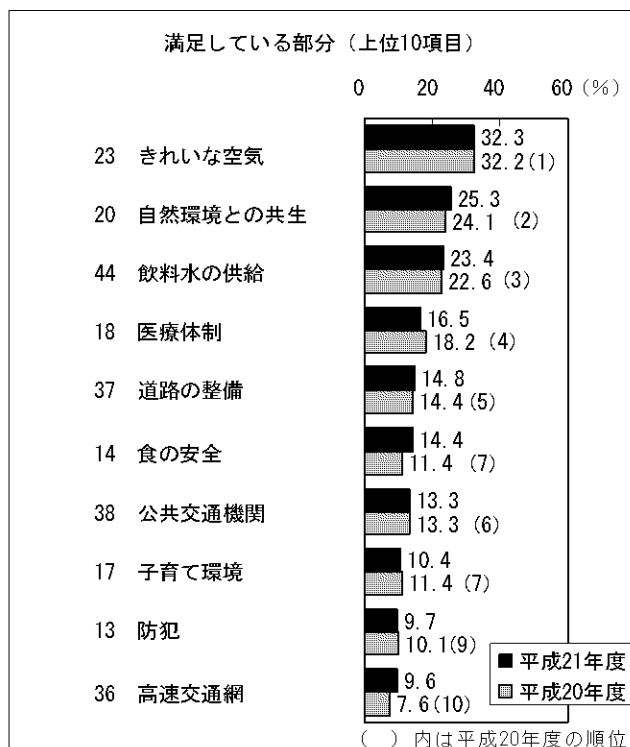
5. 住みやすい及び住みにくいと感じている点

住みやすいと答えた方（71.6%）及び住みにくいと答えた方（14.4%）を対象に、それぞれ満足している部分、不足している部分を調査したところ、以下のようにになりました。

（1）住みやすいと感じている点

住みやすいと感じている方が満足していると考えられる部分については、「きれいな空気」が32.3%と最も多く、次いで「自然環境との共生」（25.3%）、「飲料水の供給」（23.4%）の順となっており、県民の多くは自然環境を評価していることがうかがえます。次いで、「医療体制」（16.5%）や「道路の整備」（14.8%）、「食の安全」（14.4%）などとなっています。

20年度と比較すると、全体的に項目も順位もあまり変化がありません。



○地域別 上位5項目

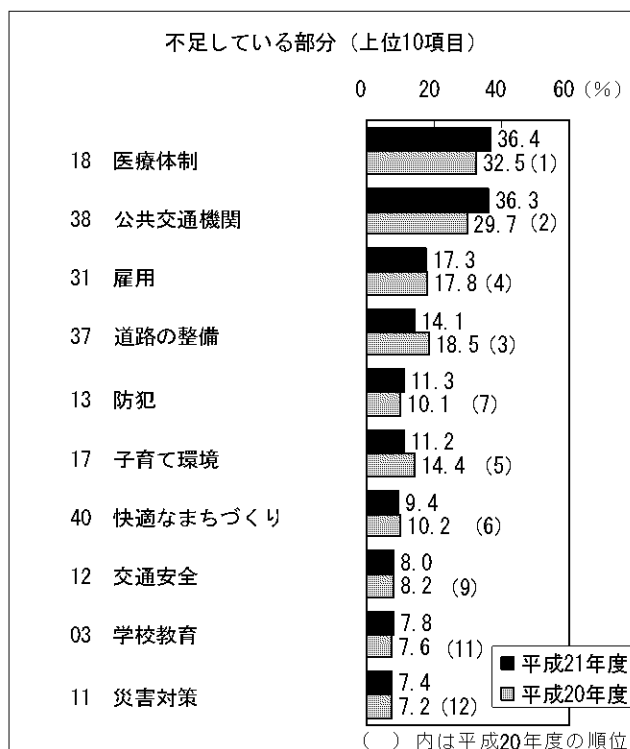
(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23. きれいな空気 32.3	20. 自然環境との共生 25.3	44. 飲料水の供給 23.4	18. 医療体制 16.5	37. 道路の整備 14.8
北勢地域	23. きれいな空気 25.5	44. 飲料水の供給 23.7	20. 自然環境との共生 22.4	38. 公共交通機関 19.0	37. 道路の整備 17.5
伊賀地域	23. きれいな空気 49.7	20. 自然環境との共生 33.9	44. 飲料水の供給 22.0	13. 防犯 14. 食の安全 12.3	37. 道路の整備 11.5
中南勢地域	23. きれいな空気 32.1	20. 自然環境との共生 25.4	44. 飲料水の供給 23.7	18. 医療体制 22.1	14. 食の安全 16.3
伊勢志摩地域	23. きれいな空気 39.0	20. 自然環境との共生 27.9	44. 飲料水の供給 21.0	14. 食の安全 20.8	13. 防犯 12.7
東紀州地域	23. きれいな空気 54.6	20. 自然環境との共生 33.6	44. 飲料水の供給 29.9	24. 川や海の水質 21.5	14. 食の安全 19.5

- ・「きれいな空気」「自然環境との共生」「飲料水の供給」が全地域で3位までにあげられており、「道路の整備」は2地域で、「医療体制」は1地域で上位5位までに入っています。
- ・上記以外の項目では、「食の安全」は4地域で、「防犯」が2地域で、「川や海の水質」「公共交通機関」が1地域で上位5位までに入っています。

(2) 住みにくいと感じている点

住みにくいと感じている方が不足している
と考える部分については、「医療体制」が
36.4%と最も多く、次いで「公共交通機関」
が 36.3%となっており、これら2つの項目が
他と比較して多くなっています。これらに次
ぐものとしては、「雇用」(17.3%)、「道路の
整備」(14.1%)、「防犯」(11.3%)、「子育て
環境」(11.2%)などがあげられています。



○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 36.4	38. 公共交通機関 36.3	31. 雇用 17.3	37. 道路の整備 14.1	13. 防犯 11.3
北勢地域	38. 公共交通機関 40.0	18. 医療体制 26.7	13. 防犯 14.3	40. 快適なまちづくり 12.4	17. 子育て環境 10.5
伊賀地域	18. 医療体制 53.8	38. 公共交通機関 39.2	31. 雇用 17.5	37. 道路の整備 11.7	19. 福祉サービス 9.9
中南勢地域	38. 公共交通機関 39.0	18. 医療体制 25.0	13. 防犯 17.0	31. 雇用 14.0	17. 子育て環境 13.0
伊勢志摩地域	18. 医療体制 55.8	31. 雇用 33.3	38. 公共交通機関 25.8	37. 道路の整備 16.7	17. 子育て環境 12.5
東紀州地域	18. 医療体制 62.5	31. 雇用 33.3	36. 高速交通網 23.5	38. 公共交通機関 22.2	37. 道路の整備 16.0

- ・「医療体制」「公共交通機関」「道路の整備」「雇用」が全地域で上位5項目としてあげられており、「防犯」は2地域で上位5位までに入っています。
- ・上記以外の項目では、「快適なまちづくり」が北勢地域で、「福祉サービス」が伊賀地域で、「子育て環境」は北勢地域、中南勢地域、伊勢志摩地域で、「高速交通網」「過疎地域等の振興」が東紀州地域で上位5位までに入っています。